

1. 製品及び会社情報

| | |
|----------|---|
| 製品名 | : CELLiST™ Feed Media |
| Item No. | : FEED2 |
| 会社名 | : AJINOMOTO GENEXINE CO., LTD. |
| 住所 | : 105, Jisikgiban-ro, Yeonsu-gu, Incheon 21991, KOREA |
| 担当部門 | : 経営企画本部 |
| 電話番号 | : +82-32-210-2600 |
| FAX番号 | : +82-32-210-2604 |

2. 危険有害性の要約

| | | |
|-----------|-------------|-----|
| GHS分類 | | |
| 健康に対する有害性 | : 急性毒性(経口) | 区分4 |
| 環境に対する有害性 | : 水生環境急性有害性 | 区分3 |
| | : 水生環境慢性有害性 | 区分3 |

(注) 記載なきGHS分類区分: 該当せず/分類対象外/区分外/分類できない

GHSラベル要素

絵表示 : 

注意喚起語 : 警告
 危険有害性情報 : 飲み込むと有害
 長期継続的影響により水生生物に有害

注意書き

安全対策 : 取扱い後は顔や手をよく洗うこと。
 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
 環境への放出を避けること。
 応急措置 : 飲み込んだ場合、気分が悪い時は医師に連絡すること。
 口をすすぐこと。
 保管 : 非該当
 廃棄 : 内容物/容器は13項を参照し廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

| | |
|-------------|-------|
| 単一製品・混合物の区別 | : 混合物 |
| 危険有害成分 | : 非該当 |

4. 応急措置

| | |
|-------------|---|
| 吸入した場合 | : 直ちに空気の新鮮な場所に移動させる。 清浄な水で口の中を十分に洗浄し、必要であれば医師の処置を受ける。 |
| 皮膚に付着した場合 | : 接触した皮膚を石鹼で十分に洗浄する。 必要であれば、医師の処置を受ける。 |
| 目に入った場合 | : 直ちに流水で最低15分間洗浄する。洗眼の際、まぶたを指でよく開く。コンタクトレンズを使用している場合は、取り除いて洗浄する。必要であれば、医師の処置を受ける。直ちに流水で充分洗浄する。必要であれば、医師の処置を受ける。 |
| 飲み込んだ場合 | : 清浄な水で口の中を洗浄し、必要に応じ医師の処置を受ける。 |
| 応急処置をする者の保護 | : 個人用保護具を着用すること。 |

5. 火災時の措置

| | |
|-------------|---|
| 消火剤 | : 散水、二酸化炭素、粉末、泡 |
| 使ってはならない消火剤 | : 利用可能な情報はない |
| 特有の消火方法 | : 現場から待避し、安全な距離から消火活動をする。消火活動は風上から行い、周囲の状況に応じた適切な消化方法を用いる。 |
| 火災時の特有危険有害性 | : 粉じん爆発の危険性があるため、粉じんの発生を最低限に抑えること 燃焼時、一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物が放出することがある。 |
| 消火を行う者の保護 | : 個人用保護具を着用する事。消防士は自給式呼吸器及び消火装備を着用する必要がある。 |

6. 漏出時の措置

| | |
|---------------------------|--|
| 人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置 | : 保護具を使用する。項目8を参照。 |
| 環境に対する注意事項 | : 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないよう注意する。排水が適切に処理されず環境へ排出しないように注意する。 |
| 封じ込め及び浄化方法及び機材 | : 飛散したものを掃き集め、密閉できる空容器に回収する。こぼした場所は大量の水で洗い流す。 |
| 回収、中和 | : 利用可能な情報はなし |
| 二次災害の防止策 | : 環境規制に従って汚染された物体場所をよく洗浄する。 |

7. 取扱い及び保管上の注意

| | |
|-----------|---|
| 取扱い | |
| 技術的対策 | : 項目8に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 |
| 安全取扱い注意事項 | : 個人用保護具を着用すること。 環境への放出を避ける。 取扱い後は顔や手を良く洗う。 |
| 保管 | |
| 適切な保管条件 | : 密閉した容器に入れ、冷暗所（2～8℃）で保管する。 湿気、直射日光、高温を避ける。 |
| 混触禁止物質 | : 利用可能な情報はない |

8. ばく露防止及び保護措置

| | |
|----------------------------|--------------------------|
| 設備対策 | : 大量に使用する場合は局所排気措置を設置する。 |
| 管理濃度 | : データなし |
| 許容濃度 (日本産業衛生学会) (ACGIH) | : データなし : データなし |
| 保護具 | |
| 呼吸器の保護具 | : 必要に応じて防塵マスクまたは送気マスク |
| 手の保護具 | : ゴム製保護手袋 |
| 眼の保護具 | : 保護眼鏡 |
| 皮膚及び身体の保護具 | : 長袖保護衣 |
| 適切な衛生対策 | : 産業安全および安全の基準に基づいて取り扱う。 |

9. 物理的及び化学的性質

| | |
|-----------------|---------------|
| 外見 | : 白色～帯赤黄色, 粉末 |
| 臭い | : データなし |
| pH | : データなし |
| 融点/凝固点 | : データなし |
| 初留点と沸点範囲 | : データなし |
| 引火点 | : データなし |
| 火炎燃焼性 (固体、気体) | : データなし |
| 上限/下限、引火または爆発限界 | : データなし |
| 蒸気圧 | : データなし |
| 蒸気密度 | : データなし |
| 相対密度 | : データなし |
| 溶解度 | : データなし |
| n-オクタノール/水分配係数 | : データなし |
| 自然発火温度 | : データなし |
| 分解温度 | : データなし |
| 粘度 | : データなし |

10. 安定性及び反応性

| | |
|------------|---------------|
| 安定性 | : 推奨保管条件下で安定。 |
| 危険有害反応可能性 | : 通常の条件ではなし。 |
| 避けるべき条件 | : 湿気、高温 |
| 混触危険物質 | : データなし |
| 危険有害な分解生成物 | : データなし |

11. 有害性情報

| | |
|-----------------|---------|
| 急性毒性 | : データなし |
| 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 | : データなし |
| 目に対する重篤な損傷性/刺激性 | : データなし |
| 呼吸器感作性又は皮膚感作性 | : データなし |
| 生殖細胞変異原性 | : データなし |

| | |
|----------------|---------|
| 発がん性 | ： データなし |
| 生殖毒性 | ： データなし |
| 特定標的臓器特性（単回暴露） | ： データなし |
| 特定標的臓器特性（反復暴露） | ： データなし |
| 吸引性呼吸器有害性 | ： データなし |

12. 環境影響情報

| | |
|-----------|--------------|
| 生態毒性 | ： 利用可能な情報はない |
| 残留性・分解性 | ： 利用可能な情報はない |
| 生体蓄積性 | ： 利用可能な情報はない |
| 土壌中の移動性 | ： 利用可能な情報はない |
| オゾン層への有害性 | ： 利用可能な情報はない |

13. 廃棄上の注意

| | |
|----------|--------------------------------|
| 残余廃棄物 | ： 廃棄は国、地域、現地の適切な法律、規制に則る必要がある。 |
| 汚染容器及び包装 | ： 廃棄は国、地域、現地の適切な法律、規制に則る必要がある。 |

14. 輸送上の注意

| | |
|----------------|--|
| ADR/RID（陸上） | ： 規制されていない |
| IMDG（海上） | ： 規制されていない |
| IATA | ： 規制されていない |
| 輸送の特定の安全対策及び条件 | ： 湿気、高温および容器の破損を避けること。 取扱いおよび保管上の注意の項の記載にも注意する。 |

15. 適用法令

| | |
|------------------|-------|
| 消防法 | ： 非該当 |
| 毒物及び劇物取締法 | ： 非該当 |
| 労働安全衛生法 | ： 非該当 |
| 化学物質管理促進法（PRTR法） | ： 非該当 |

16. その他

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、含有量、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。

また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施のうえ、ご利用ください。

また、法令の改正や新しい知見に基づいて改定されることがあります。

※このSDSはAjinomoto社で作成したSDSを参照し作成しました。